

2018年
2月10日
第311号

ゆうあい通信

発行所 石井記念友愛園
宮崎県児湯郡木城町椎木644番地1
〒884-0102 TEL 0983-32-2025

ビジョンとミッション

園長 児嶋草次郎

A 年賀状ありがとうございます。御無沙汰していますが、お元気のようでなによりです。「友愛通信」もいつも送ってくれてありがとうございます。女子大学生の不幸のお知らせには、涙を禁じえませんでした。だけど石井十次のお墓の近くに埋葬されたということだから、一安心です。

ところで「新しい社会的養育ビジョン」のことで電話しました。君が何度も「友愛通信」に書いていたし、我々一般国民として、もっと関心を持つべきではないかなと考えたのです。

B ありがとうございます。私たちは福祉現場の存在価値が否定されると受け取っていて、今言うべきことを言っておかないと、日本の福祉文化は崩壊していくと察しているのです。

A 私もインターネットで検索して、その「ビジョン」を読みたんだだけで、違和感を持ちながらも率直、意欲的で前向きな「ビジョン」ではないかと感じたんだけど。あなたがたにとって、何が一番問題なのかな？

B 今も言いましたけど、児童養護施設や乳児院の取り組みを、全然認めてないということです。石井十次を初め、戦前、戦後、児童福祉施設が社会的養護の子供たちの養育・自立についてはほぼ荷って来たわけですし、先人に対する敬意や感謝を私たちは持ちながら仕事をしている。そういう実践を否定された思いです。

また、平成27年度から「家庭的養育推進15年計画」を、厚労省の主導のもとに私たち地方でも強力に進め始めているところでありましたのに、3年もしないところで、厚労省は豹変しました。そのことに対する釈明もありません。

この「ビジョン」の通りやらないと、「我が国の社会的養育は生まれ変わることはない」など、しゃあしゃあと今回おっしゃっていて、裏切られた感じです。

A 全然認めてないわけではないと思うけどね。どこかに、もっと「高機能化すべき」などと書かれていたよね。それどういう意味かい？施設生活は「数か月

以内」とか「1年以内」とかも書かれていたよね。「高機能化」と施設生活を短くすることはどうつながるのかな。高機能化すれば、施設生活は半年、1年以内にする事ができるということなのかい？

B これは、私たちの施設現場を知らない人たちの理屈だと思います。また、医者や心理学者の考えていることだと思います。治療やカウンセリングだけで子どもの生活が変えられると信じこんでいるようです。そのことを高機能化と考えているのでしょう。

施設はあくまでも生活の場です。「生活が陶冶(とうや)する」の世界です。職員が子供たちと寝食を共にすることで、愛着関係を作り、生活習慣を身につけさせ、そして社会に自立するために自律心や様々な知恵を身につけさせていくのです。石井十次、富岡幸助、戦後で言えば自由学園の羽仁もと子先生方が実践されて来たことです。私たちもそれを戦後70年一途に守って来ました。

A それをどうして厚労省は評価しないのだろう。

B この「ビジョン」を読んでいて感じるのは、施設では愛着関係作りや永続的な支援ができないとみているということです。アメリカ等ではそれができてないのかもしれませんが、日本の児童養護施設では、できていると自負して来ました。友愛園では職員達は住み込んで働いてくれていますので、今もできていると誇りに思っています。その結果として現在、大学に10名ほど通わせることができます。しかし、多くの児童養護施設では通勤・交替制となって来ており、昔よりは機能しなくなって来ているのかもしれない、という気は正直あります。今、存在価値が問われているのかもしれませんが、そこを突いて来ているのかもしれない。

A 言いにくいことだけど、“施設内虐待”とかで時々ニュースに流れたりするよね。そういうのは関係していないの？

B 残念だけど、それもあるかもしれません。虐待はあってはならないことです。しかし、トラブルのリスクは常に背負っているということを理解しておいてほしいと思います。「寝食を共にする」ことによるリスクです。普通の家庭でおきるようなトラブルは施設でもある。子供にとって最悪は親の離婚かもしれない。夫婦ケンカ、親子ケンカ、兄弟ケンカ、ねたみ、嫉妬色々にありますよね。それらと似たようなことは施設でもあるし、おそらく里親宅でもある。ただ施設は、その同居する人数が多いですので、目立ってしまうということはあるでしょう。聖職者の集まりではありませんので、同じ屋根の下で寝食を共にすれば互いの醜いところは見えてくる。自分を律しながらも、互いにゆずり合いながら生活しなければなりません。

A 子供が荒れるということはあるのか？「友愛通信」を読んでいると、みんな正直で良い子ばかりのようにみえるけど。

B 発達障害や愛着障害を背負った子供もいます。そういう子供は感情のコントロールがなかなかできず、パニックになって器物破損をしたり衝動的に暴力を振ったりすることもあります。そういうこどもに対しては、医師の治療を受けながら指導していきます。親から虐待を受けて人間不信が強く、思春期の衝動的欲望を乗り切れない子供もいます。施設ではチームプレイで乗り切っていますが、里親さんの場合、密室ですので大変だと思います。

今回の「ビジョン」の数字合わせのために、里親さんの“粗製乱造”が行なわれるようになると、里親さんにとっても子供にとっても不幸な結果になると思いますよ。

A その数字合わせなんだけど、児童福祉法で、社会的養育する場合、里親委託（特別養子縁組も含めて）を最優先とすると決めたことは私もよいことだと思うんだよね。ただ今回、「7年以内に里親委託率を75%以上を実現する」と書いてあるけど、この「75%」の根拠は何なのだろうね。何の説明もないよね。

B 「友愛通信」にも書きましたけど、アメリカ、イギリスレベルにもっていきうということだと思います。それを“世界標準”だと思いこんでおられるのです。つまり、「国際的比較も耐えられる」数字にしたいという学者の論理・本音が隠されています。

里親宅にしろ、施設にしろ、そこは子供たちの生活の場です。宇宙船の中ではないのです。アメリカ、イギリスだって70%以上を目標にしてそうなったわけではなく、結果としてそういう数字になったわけです。オーストラリアは90%以上ですし、ドイツは逆に50%代です。

生活の場であるということは、その歴史、文化、自然環境、つまりその国・地方の生活文化に規定されますよね。その土地の生活文化が子供を作るのです。数字に生活を合わせようとするれば無理が生じるでしょう。

アメリカという国は一応キリスト教国家ではありますが移民国家であり、価値観はかなり多様化しています。家庭崩壊も日本に比べると相当進んでいる。人口は日本が1億2000万人に比べて3億2000万人。17歳以下の人口は日本が2000万人に比べて7500万人。里親等養育が日本が5000人代であるのに、アメリカは34万人と桁違いに多い。かと言って施設で生活している子供が少ないわけではない。日本が3万人とするとアメリカの施設児童は4万人です。

A ふむ。「75%」というのは厚労省の縦制主義的上意下達であるわけだ。アメリカナイズされた価値観を持つ学者が75%と言うのは仕方ないとしても、施

設、里親、児童相談所の現場の味方であるべき厚労省としては、もっとアメリカの里親制度について検証してから数字は出すべきだよね。

マスコミもただ情報を右から左に流すだけではなく、マスコミなりの立場で検証すべきだろうね。子供たちの未来がかかっているわけだから。

B 子供たちの未来ということ言えば、この「ビジョン」に抜け落ちている視点があるんですけど、なんだと思いますか。

A 違和感と最初に言ったのはそこかもしれないね。子供を一所懸命幸せにしてあげたいという気持は分かるけど、どんな子に育てようとしているのかが見えてこないね。

B そうです。教育的視点が抜けている。子供を守るという発想しかない。愛着関係作りだけで、子どもは成長できるわけではない。しつけも必要です。思春期に入れば、自律力も育てていかねばならない。社会人になるためには志も育てていかねばならない。教育的な関わりがなければ、子供は育ちません。私は、友愛園の生活の中に石井十次の福祉文化、日本の伝統的な私塾や藩校の方法論等も取り入れながら、子供たちを育てています。その結果として大学進学児も次々に出て来ています。

日本の児童養護施設が世界の施設と差別化しようとするれば、こういう教育的関わりを取り入れることができる面だと思います。ドイツは職業教育を重視する国であり、一昨年「石井十次セミナー」でドイツの児童養護施設長をお招きして、職業教育との連携を聞いてみたのですが、あまり連携も行われてないし、大学進学者も少なくガッカリでした。

できれば、厚労省の言う「高機能化した施設」をA型とするならば、B型として大学進学等をめざすような自立教育施設というような類型をも作っていただきたいと思います。これが日本型の社会的養護・養育施設と位置づけています。石井十次は福祉と教育を一体のものとしてきました。

A そう言えば、あなたが「友愛通信」の中で、「ルールによる集団管理をしながら、集団力動をうまく使って、個々の能力を最大限に引き伸ばす」というのが日本の教育の神髄だと書いていたよね。個人主義が世の中に蔓延して来ている中で、日本の教育界では、まだそういう価値観が踏ん張っているよね。

何年前かにトヨタが中心になって愛知県に作った中・高一貫の学校「海陽学園」の記事を読んだことがあるけど、ここは全寮制で、校長先生は、寮生活の規律を守って社会生活のマナーを身につけ正しいあいさつのできる人間になるとか、人間力を養うとか、社会のリーダーになるとか話されていた。日本の私立学校には、伝統的にそのような教育文化、価値観があるよね。

日本人にとって思春期(中・高生時代)を乗り切るといのは最重要課題で、厳しく鍛錬練磨させることで本能的欲望を自律する人間に育てるといような教育法が伝統としてあるよね。宗教哲学者の山折哲雄氏は、「ヒトはほったらかしにしていると、野性化、野獣化する」とどこかで書いていたけど、だから教育で鍛えるんだ。

- B 残念ながら、児童福祉の世界では、アメリカ的価値観がほぼ支配していて、子供のプライバシーを守るために個室が望ましいなどと、その養育指針には書いてあります。

明治革命をなしとげた西郷隆盛を初め下級武士たちは、最底辺の生活を知っていたらこそ、多くの国民を味方につけたのだと思います。私は、これから世の中を変えることのできる人間は、この児童養護施設から出るのではないかと期待しているのです。日本の福祉文化の中で生き続けて来た児童養護施設が、アメリカ的価値観によって大きく変質されていくことを淋しく思います。

- A まだそう決まったわけではない。

今朝の新聞見たかい。昨日(1月22日)の通常国会の施政方針演説で、安倍首相が「人づくり革命」を標榜(ひょうぼう)し、ある児童養護施設児童の大学進学を紹介し、「子供のたちの誰もが、夢に向かって頑張ることができる。これが当たり前となる社会を創ることは、私たち大人の責任であります」と述べておられた。これを読んで君に電話する気になったんだけど、政府もそう強引なことはしないとと思うよ。

- B あらためて、園の50人ほどの子供たち一人ひとりの顔を思い浮かべてみました。だれ一人、里子に行けるような子はいない。それぞれに保護者がおり、いずれ家庭復帰を望んでいるが、それが不可能だとしても、面会や帰省を繰返しながら、関係は修復されたり維持されている。たとえ家庭復帰できなくてもここを自立した後、親子・親族としてのお付き合いができることを目差しています。

性規範が崩れているアメリカ等においては、10代の出産や望まない出産等が多く、家庭復帰も関係修復も困難で里親にあずけられるケースが多いのではないかと思います。里親委託率90%以上のオーストラリアでは、20世紀後半から1975年頃まで、子供を取りあげられ強制的に養子縁組に出された未婚の母が15万人もいたと言われています。その後大きな人権問題となりましたが、日本人の多くのはそのことを知らない。

私たちの仕事の使命・理想は、あくまでも家庭復帰あるいは親子関係の再構築です。里親養育、施設養育は、その理想を達するための手段にすぎません。

もし、代替養育が長期化する場合は、次の使命・理想の設定も必要でしょう。単に貧困の連鎖を断つというレベルにとどまるのではなく、日本国民の一人として、世のため人のために生きるような志の高い人間に育てるという使命・理想です。里親も施設も国の税金を使ってする仕事であるわけだから、同じミッションをもって互いに競い合えばよい。家庭的環境というのは、あくまでもその理想を達するための手段だと私は思います。手段を目的化・理想化すべきではありません。あくまでも貴重な人材の養成として子供たちに向き合うべきです。

A よく分かりました、君の考えが。手段を目的化してはいけないということだね。トランプ大統領の就任から1年、アメリカのエゴが次々に出て、アメリカ社会もさらに混乱し始めて来ています。世界のリーダーを演じてきたけど、このドロドロは価値観の多様化した移民社会の現実だね。グローバル化にただ流されるのではなく、日本の伝統的な精神文化・生活文化を大事にした独自の道を歩んでほしいね。これからも支援していきます。がんばって下さい。これから国民に向けてのアピールも必要だね。明治150年という節目に、「人づくり革命」のために、児童養護施設が参画・貢献すべき時が来たということかもしれないよ。地方創生という理念にも合うしねー。